

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 舞鶴市 上下水道部 下水道整備課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 上下水道部 下水道整備課 西村 綾夏 TEL : 0773-66-1056, FAX : 0773-66-0510 MAIL : jg-g-seibi@city.maizuru.lg.jp
代表者氏名 上下水道部長 池田 秀男	
部門名 行政部門	事例名 『舞鶴市水石化50周年記念事業』 記念マンホール蓋の製作／マンホール蓋を使った街歩きイベント

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）  
 舞鶴市は『すべての皆さんへ下水道の大切さをお届けする』をモットーに平成30年度から上下水道部内の若手職員を中心に『下水道PRプロジェクトチーム』を結成し、下水道の広報に取り組んでいます。令和元年度は舞鶴市の『水石化50周年』を迎える年ということで、2つの企画を実施しました。

【企画①：水石化50周年記念マンホール蓋の製作】  
 チームに参加している若手職員らを中心に新しいマンホール蓋を製作しました。舞鶴市は市域の東西に市街地を持つ『複眼都市』であるため、各市街地のランドマークともいえる観光施設を描きお互いが対になるデザインマンホール蓋を製作し、老朽化した鉄蓋の交換と合わせて街歩きを想定したルートに設置しました。

【企画②：マンホール蓋を使った街歩きイベントの開催】  
 企画①で製作したマンホール蓋を使い、市内外を問わずたくさんの方に舞鶴の街歩きを楽しみながら下水道の世界を感じてもらおう2つのイベントを開催しました。

『マンホールの聖地を巡れ！！～GO!GO!!スタンプラリー～』  
 企画①のマンホール蓋のデザイン元となった観光施設2か所を巡るスタンプラリー企画。抽選で100名にマンホールコースター2種類1組をプレゼント。

『マンホールでインスタ映え！？～#下水んすた～』  
 街歩きルートに沿って設置された企画①のマンホール蓋を撮影しハッシュタグ『#下水んすた』を使って写真投稿型SNS『Instagram(インスタグラム)』に投稿する企画。抽選で10名にオリジナルマンホールデザインタオルをプレゼント。

いずれの企画もFacebookやInstagram等のSNSやFMラジオ、市の広報誌で広く宣伝を実施。新聞等のメディアにも数多く掲載いただき、全国各地から238件のたくさんの方々にご参加いただきました。

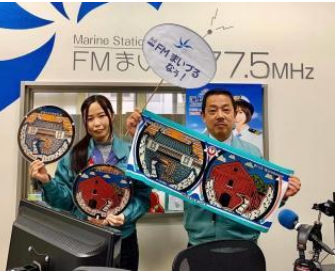


\* 東市街地：「赤れんが倉庫」（舞鶴赤れんがパーク内）



\* 西市街地：「田辺城城門」（舞鶴公園内）

👉ラジオで紹介！



↑コースター



↑タオル

👉舞鶴市オリジナルマンホールグッズ

★Instagramで『#下水んすた』と検索すると参加者の方々が投稿された写真がご覧いただけます！

👉考案した蓋とデザイン元の観光施設

👉記者会見を開催！

新聞(読売新聞社他7社)に掲載！ネットニュースにも掲載いただきました！

エントリー事例の特徴

- ◆新しい蓋を2種類同時に製作・広範囲に設置することで、街中の変化からたくさんの方へ気軽に下水道へ目を向けていただく・知っていただくきっかけを提供。
- ◆実際に設置された蓋を使った企画を開催することで市内外・老若男女問わず幅広い世代に蓋探しと街歩きを楽しんでもらい、企画を通じて下水道に親しんでもらう場を提供。
- ◆多岐に渡って企画の広報を実施したため、全国各地(東は北海道、西は広島県)から参加があった。
- ◆蓋や資料のデザインは職員考案・蓋設置は老朽化鉄蓋の交換に合わせたため、企画そのものは低予算で実施。
- ◆新たなハッシュタグ『#下水んすた』を考案し企画に写真投稿SNSを採用したことで、参加者自身がマンホール蓋の写真と共にイベントの情報を発信し、下水道と“インスタ映え”を掛け合わせた企画の面白さをより広く拡散できた。

付属資料の提出  あり ・ なし (どちらかに○)